



被災地に設置される仮設トイレの様子（上）、さまざまある非常用トイレ（下）

増田 勇気

ひろしま 気候変動適応センター

⑪生物への影響

私が今、この原稿を書いているのは1月で、まだ肌寒い日が続いていますが、この情報紙が発行される3月には、梅の花が咲き、温かい日々の中、桜の開花が待ち遠しい頃かと思います。開花や紅葉といった現象は、生物が気温や日照時間などの気象条件の季節的变化を感じることで生じており、この生物の季節的な応答のことを、「生物季節」と呼んでいます。

先ほど挙げた、梅や桜の開花について、少し掘り下げてみましょう。下表を見ると、梅の開花日が遅くなる一方で、桜の開花日が早まっていることがわかります。表の期間の1~3月の平均気温は上昇傾向にあり、地球温暖化の影響を受けていると考えられます。

樹木の多くは、開花のために寒さに

意しておくことが大切だと思います。非常用トイレはたくさん種類があり、使い方が異なり、何を選んでいいか分からぬこともあります。災害時に使い方をためらってしまうのが一番体に負担をかけます。

生物季節から分かる温暖化

梅の開花が遅く、桜の開花が早く

なく、動物にもあります。春の代表的な動物季節観測として、ウグイス初鳴、ヒバリ初鳴、モンシロチョウ初見などがあります。暖かい晴れの日には、外に出かけて、生物季節に春の訪れを感じてみてください。

もし、「春の訪れ」を見つけた時は、生物季節モニタリングにぜひご協力ください。（詳しくは、上の2次元コードからアクセスしてください。）

（ひろしま気候適応センター）

	1991~2000年	2013~2022年	比較
梅の開花日	1月26日	2月12日	17日遅い
桜の開花日	3月27日	3月21日	6日早い
平均気温(1~3月)	7.0°C	7.5°C	0.5°C上昇

梅、桜の開花日と平均気温（広島）

能登半島の被災地から 家庭でもトイレの備えを

能登半島地震で被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。

私は今、被災地でこの文章を書いています。みなさんも報道などで毎日、現地の様子を見聞きしていると思いますが、今回は、特に被災地を悩ませている「トイレ」についてお伝えしたいと思います。

生活に欠かせないトイレですが、長引く断水、下水の破損などによりほぼ使えません。

そのため、まずは「非常用トイレ」が多く活躍しますが、数万人の量が十分に備蓄されているか、

（つづく）

私は今、被災地でこの文章を書いています。みなさんも報道などで毎日、現地の様子を見聞きしていると思いますが、今回は、特に被災地を悩ませている「トイレ」についてお伝えしたいと思います。

生活に欠かせないトイレですが、長引く断水、下水の破損などによりほぼ使えません。

そのため、まずは「非常用トイレ」が多く活躍しますが、数万人の量が十分に備蓄されているか、

（つづく）

（つづく）